

活動実績報告書

平成 26 年 4 月 16 日

登録番号 20130726

氏名 廣田 智行

1. 活動状況

H22.4-H24.3月

【森林経営状況と地域材流通の現状把握に基づく計画的木材生産の提案指導】

岐阜県における地域林業全体を単位とした集約化と、そこで生産・流通される地域材の現状について調査把握、GIS技術などを活用し関係者へ地域の森林経営状況として“見える化”することで客観性のある課題提起および効率的な流通・販売を提案指導しました。業務は大きく2つに分類することができます。

1. 地域の森林組合等が取組む集約化、森林経営計画の策定に関する川上の活動。
2. 策定された森林経営計画によって生産される木材の流通・販売指導に関する川中の活動。

（当該業務を上げた理由）

地域林業形成のための入り口の要素となる集約化、森林経営計画の拡大と、出口的要素となる木材の流通・販売の効率化双方において、課題の抽出と解決が求められると考えます。このような業務を推進するうえで中心的な指導、調整、課題解決などの能力を發揮し、社会的にも産業的にも適正な森林経営を地域として実践していただくことが森林総合管理士業務としてふさわしいと考えています。

（立場と役割）

私は、業務の総括的な取りまとめを行うとともに、森林組合を含めた事業者が集約化、森林経営計画の策定に当たって直面する課題解決のための技術指導及び提案・補完をする立場にあります。また、木材流通の上で収益効果の高い協定工場顧客への直送形式販売の推進指導を担う立場でもあります。

（課題と対応策）

➤ 川上編

- (1) 地域レベルでの集約化、森林経営状況に関する情報の集約・共有がなされていない。

集約化、森林経営計画の作成実行は多数の人や組織が取り組むため、地域でお互いがどこで活動しているかについては推測レベルに留まっています。このような情報不足により集約活動がバッティング、プレーキが掛かることも想定されます。課題としては、地域森林のどこで、だれが、どのような範囲で活動を実施または着手しようとしているのか等の情報をどのように集約し、地域の事業者と効果的に共有できる情報基盤整備が挙げられます。

- (2) 公有林が集約地拡大の核として活用されていない。

地域森林の多くを公有林が占めている地域では、集約化拡大、路網の効率的配置による生産性の向上に資する核的な役割を公有林が担う必要があります。しかしながら、周辺の集約情報が明瞭に把握されていないため、地域の核的森林を担うインセンティブが働きづらい状況にあります。課題としては、集約地拡大によって森林経営を効率化したい事業者と、地域の集約化を促進したい公有林双方のインセンティブが働く具体的な条件提示が必要となります。

⇒【対応策】GISを活用し、活動状況の情報集約と見える化を実施しました。

⇒【対応策】情報共有、集約拡大検討資料として活用しました。

➤ 川中編

- (3) 需要と供給のミスマッチが顕在（売れない材を生産している）。

A、B、C材需要と供給のミスマッチが顕在しており、需要はあるが、買方任せかつ、単独でバラバラの対応になりやすい状況が続いています。課題としては、需要にマッチする造材規格を的確に把握し売れない材を作らない体制と収益性の高い流通形式の選択ができる人材の育成が挙げられます。

- (4) 地域で生産される木材の流通実態が不透明。

地域で生産される木材がどのような流通方式をとって生産販売されているかについては把握してされていない現状があります。また、選択する流通方式がどの程度効果的なのかについては体系的認識の下での検討がなされないまま流通販売が行われている現状があります。課題としては、

地域全体の木材の生産流通傾向についての正確な現状把握とその結果に基づく効果的な流通販売方式の選択指導技術の確立をする必要があります。

⇒【対応策】地域の木材流通現状の詳細調査を実施、関係者と共有しました。

⇒【対応策】需要に応じた生産と多様な流通展開ができる人材を育成（森林評価測定士研修）

【残された課題】

➤ 情報共有の取り組みが小さく、集約化の基盤情報としては発展途上。

⇒【期待される対応策】市や県が地域スケールでの情報公開できる仕組みを構築

➤ 依然として、一気通巻型の流通販売の実践（さらなる流通マッチング）には至っていない。

⇒【期待される対応策】特に山側における計画情報の即効性のある情報クレンジング&提供

2. 研修等受講経歴

【研修】

➤ 林業をキーワードにした北海道下川町との交流勉強会

平成 25 年 8 月 主催：岐阜県建設業協会

➤ 木材価値を上げる生産・加工・販売のあり方

平成 26 年 1 月 主催：岐阜県立森林文化アカデミー

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

【各種研修の企画、講師歴】

➤ フォレストリーダー研修「森林の調査」 講師

平成 24 年 1 月 岐阜県立森林文化アカデミー

➤ 森林施業プランナー養成ステップアップ研修 講師

平成 25 年 11 月 愛媛県林業会館

➤ 施業プランナー技術維持研修 講師

平成 26 年 1 月 岐阜県立森林文化アカデミー

➤ 森林施業プランナー育成研修 講師

平成 26 年 和歌山県日高町山村開発センター

➤ その他連合会指導事業としての組合職員向け研修の企画運営

➤ 持続的森林経営確立総合対策実践事業（林野庁） 委員

➤ 森林クラウド標準化事業ワークグループ（林野庁） オブザーバ

➤ 森林・林業と連携した道路ネットワーク化検討会（下呂市） 委員

【雑誌、広報誌等への投稿】

➤ IT 時代の森林測量システム「将来の林業のために森林境界をデータ化する」

WEB マガジン『COMZINE』（NTT コムウェア）FILE NO.056 2011.1

【研究会、シンポジウム等での発表など】

➤ 林建協働による新規林業参入者技術指導の取り組み

平成 23 年 11 月 国有林野事業業務研究発表会（林野庁）

➤ 地域材倍増計画、計画生産システムの取り組み

平成 24 年 6 月 県産材流通・加工研修（岐阜県中濃総合庁舎）

➤ 林業事業体による情報管理事例

平成 26 年 2 月 持続的森林経営確立総合対策実践事業意見交換会「市町村が積極連携した新たな森林管理を目指して」（東京都四ツ谷）